

秋になれば丹波の美味しいものが、
冬になれば、雪化粧の丹波の山々が、
春になれば丹波の遅咲きの桜が、
夏になればひんやりとした土間のおいが恋しくなる。
そんな宝物だらけの丹波をふるさとにしたい。
それはまち暮らしの人たちの夢です。

丹波^エツーツーリズムによる

地域再生・地域活性化

フォーラム

1/19^土

午後1時30分～

ライフピアいちじま
大ホール
(市島町上田 814)

丹波からの「いらっしやい！」
そして「おかえり！」の言葉をまっています。
丹波の宝が一つになって、
まち暮らしの人たちをご招待して、
丹波自慢をする―それが「丹波^エツーツーリズム」。
さあ、その作戦会議をはじめましょう。

丹波^エツーツーリズムとは…

丹波市は、過去に大きな公害問題を起こしたことはなく、また、大都市のように環境悪化の回復・防止という保全事例もありません。

しかし、逆に、「過疎」による森林、農地の維持管理などの社会的環境問題が低密度・広範囲で発生しています。

このことは、今後、単なる環境保全ではなく、よい環境の復活・創出、環境を生かした経済・暮らしなどの地域再生や活性化を進めないと、逆に、環境が守られない状態に陥ることが危惧されます。

丹波^エツーツーリズムは、資源の原始的利用ともいえるこれまでの観光から脱却し、農地や森林、里地をフィールドに、豊かな自然や歴史文化を保全しながら、地域の活力につなげようとするものです。

第1部 事例発表 (60分)

①^{はんのう}埼玉県飯能市エコツーリズム事業

標高 600メートルのドン詰まりにある集落がはじめたエコツアー。素朴で派手やかさのないツアーが多くの人々を魅了した理由とは…

②稲土棚田オーナー事業 (青垣町)

③初冬の森訪問 日帰りでいく丹波森歩きツアー (NPO 法人サウンドウッズ)

第2部 パネルディスカッション (60分)

コーディネーター：岡絵理子さん

(関西大学環境都市工学部准教授/大阪たびメガネ・クルー)

司会：西田夫佐さん

☎環境政策課 (氷上庁舎内) ☎ 82 - 1290